

盛岡地区かわまちづくりワークショップ  
－ 中津川(上の橋～下の橋) －

市民からの提案書【概要版】



平成22年9月

目 次

1. 「市民からの提案書」の位置づけ .....	1
2. かわまちづくりの基本的な考え方 .....	3
3. ワークショップの記録 .....	7



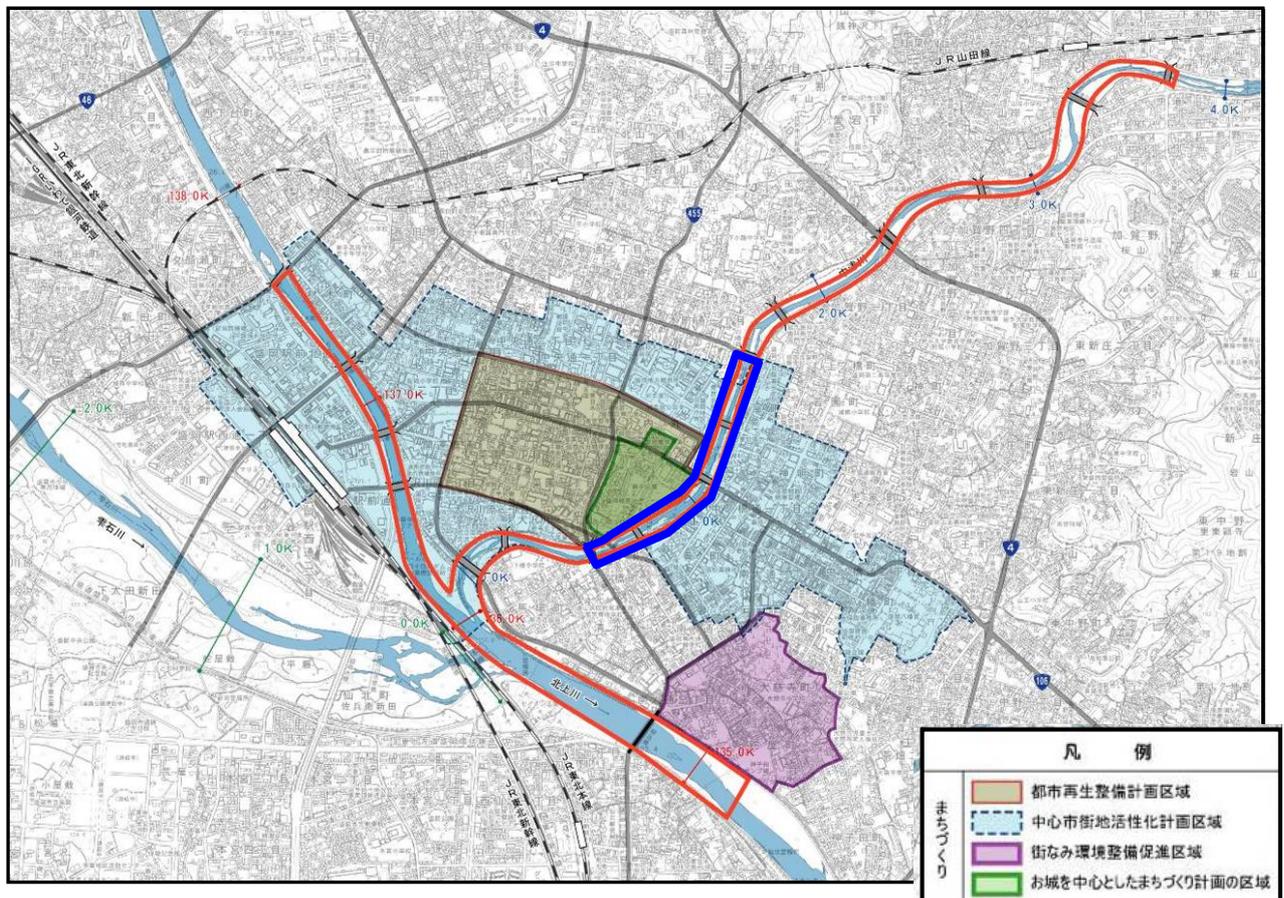
# 1. 「市民からの提案書」の位置づけ

本「市民からの提案書」(以下、提案書という。)は、『盛岡地区かわまちづくり計画』の実現に向け、下図に示す中津川上の橋～下の橋を対象に、具体的な施設整備や市民の参画・役割分担のあり方についてワークショップで議論した結果をとりまとめたものです。

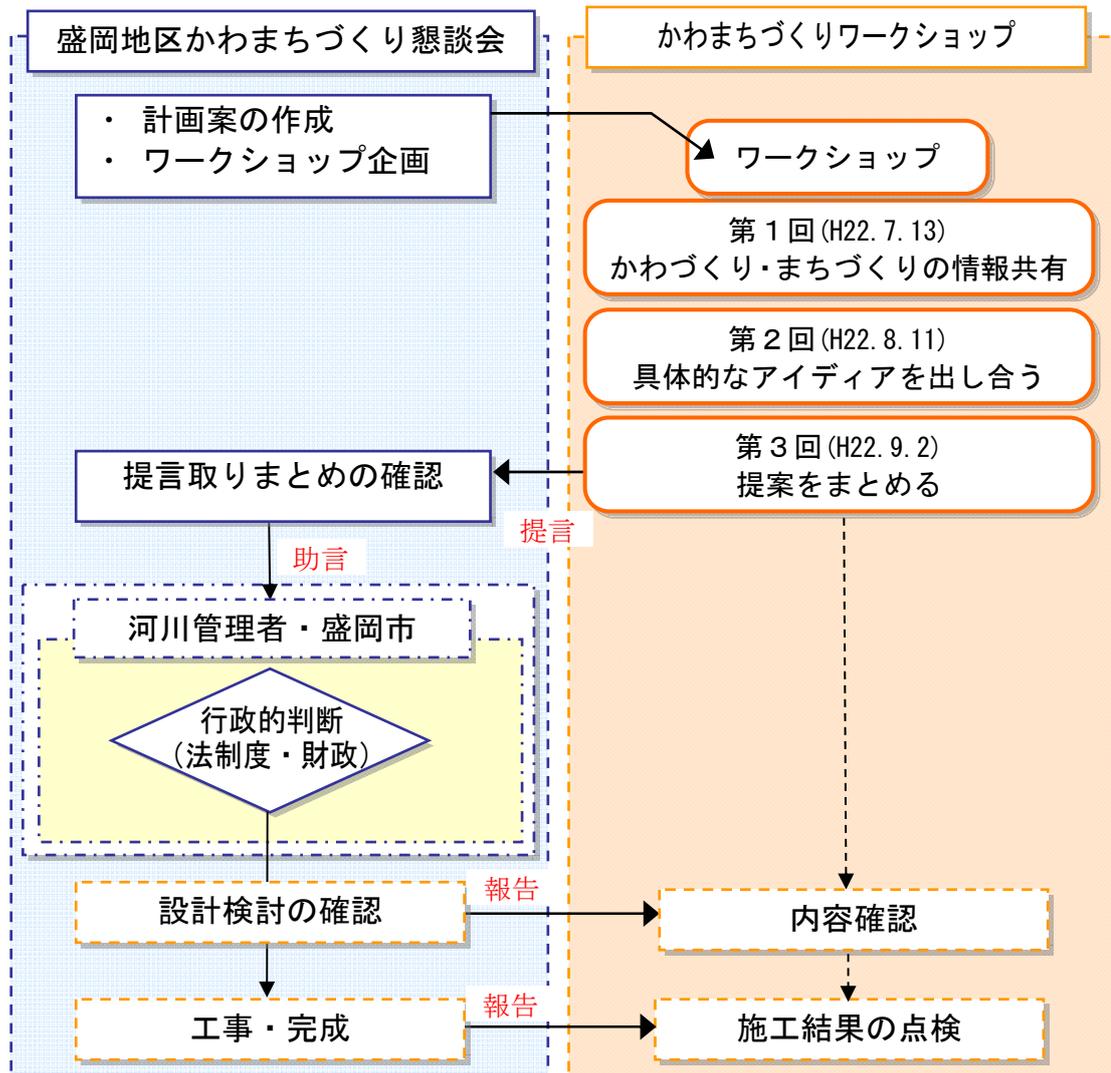
今後の円滑な盛岡地区かわまちづくりの推進のため、本提案書をかわまちづくり懇談会に提言します。

## 【盛岡地区かわまちづくりワークショップ検討範囲】

- 盛岡地区かわまちづくり検討範囲
- 本提案書検討範囲：中津川（上の橋～下の橋）



【ワークショップと実現化に向けた検討フロー】



<第1回：かわづくり・まちづくりの情報共有>

テーマ：①暮らし・仕事、まちづくりに中津川をどう活かせると思いますか？

②そのために必要なことは何ですか？アイデアください

<第2回：具体的なアイデアを出し合う>

テーマ：①遊歩道や拠点の整備のあり方

②川の自然環境や周辺の景観のあり方

③川を活かすためのソフト施策のあり方

<第3回：提案をまとめる>

テーマ：①前回までの検討案について

②市民からの提案書(案)について

## 2. かわまちづくりの基本的な考え方

### ■提案1 (ひと・かわ・まちの連携の再構築)

#### ①安らぎ・賑わいの水辺環境づくりについて

- ・盛岡市の中心部を流れる中津川は、身近な自然とのふれあいや賑わいをつくる様々な市民活動が可能な水辺環境づくりを目指して下さい。
- ・特に子どもたちの原体験ができるような水辺環境を望みます。
- ・そのため、より多くの市民が多様な意見を共有しながら参加・利用機会を確保していきたい。

#### ②多様な連携・参画の仕組みづくりについて

- ・中津川に係る計画づくりや市民活動に関する情報共有・意見交換ができる場や活動の拠点づくりを行って下さい。
- ・上下流や世代間交流を育む川遊びやイベントなどの多様なニーズへの対応として、プラザおでってやもりおか歴史文化館等の活用を推進して下さい。

#### ③協働の維持管理について

- ・ゴミ拾い、草刈りなどの川の維持管理に市民等が積極的に関わることができるよう、行政による支援の充実と市民等との連携強化を図って下さい。

### ■提案2 (かわとまちの自然環境の保全・活用)

#### ④自然環境の維持・保全について

- ・優れた自然環境を保全することが基本であり、川の中は極力手を加えないことを提案します。
- ・川の中のヤナギの取り扱いや野草の植栽について、植生の管理方針を設定することを提案します。
- ・中州については、そこに生息・生育する動植物や治水上・管理上の安全性を考慮し、保全や撤去等の適切な措置を講じて下さい。

#### ⑤生物の生息環境の保全・創出について

- ・様々な生物が生息する中津川は盛岡の宝であり、その生息環境の保全を前提として下さい。
- ・サケの遡上を観察できる場などを設ける際には、専門家の意見を聞きながら生物の生息・生育環境の保全・整備に配慮して下さい。
- ・毘沙門橋上流の護岸は、安全面、景観面、環境面に配慮した対策を行って下さい。

【整備イメージ1参照】

#### ⑥水質に関して

- ・水質の向上及びその対策検討にあたっては、地域と関係機関が連携していくことを提案します。

## ■提案3 (かわとまちの歴史・景観資源の保全・活用)

### ⑦景観の保全・形成について

- ・現状の優れた景観を維持・保全することとし、施設整備においては、イメージパースなどによる景観予測を行ないながら自然景観に調和した川づくりに努めて下さい。
- ・沿川の建物などの景観は、景観条例等に則り、良好な景観の維持・保全に努めて下さい。

### ⑧川と暮らし、文化の伝承等について

- ・既存の歌碑や彫刻を活用するとともに、まちやかわ及び橋等の歴史を伝える説明看板が必要と考えます。
- ・中津川の価値を子供や地域の方々に伝える事が大切です。その方法については、市民と行政が連携を図って下さい。

## ■提案4 (かわとまちを結ぶ連携空間の創出)

### ⑨水辺の遊歩道・アクセス整備について

- ・まちとかわを結ぶ遊歩道やアクセスの充実を図って下さい。現状の遊歩道の活用や連続性確保を図るとともに、バリアフリーを念頭に必要に応じて拡幅を行って下さい。

【整備イメージ2参照】

- ・中の橋下流左岸は、水路に橋を架けるなど必要最小限となる管理用通路の整備を検討して下さい。
  - ・アクセス整備は、橋梁の近くに設置することを基本とし、必要に応じ、バリアフリーに配慮したスロープの新設や改良を図って下さい。
- 【整備イメージ3参照】
- ・ベンチの設置を検討して下さい。
  - ・対岸に渡ることでできる飛び石は、中津川には必要ないと考えます。

### ⑩河川利用拠点整備について

- ・中の橋下流のイベント広場や隣接する盛岡城跡公園は、水辺の拠点となるポテンシャルを有しています。イベント時に実施しているオープンカフェの恒久化について、より具体的な検討が必要と考えます。
- ・ビクトリアロード整備と連携し、城跡公園との一体的な水辺空間の形成を図るため、洪水時の安全性や費用、石垣の保全等を総合的に検証した上で、公園から直接河川敷へ降りられるアクセス整備を図って下さい。

### ⑪その他の整備に関して

- ・沿川の道路、橋の拡幅等の整備について、今後も必要に応じて検討を行って下さい。

## 【整備イメージ1：護岸改良の検討案】

### 主な意見

- ・ 護岸前面の捨石は、極力、川の玉石を使う。
- ・ 山から切り出したゴツゴツした石は使わない。



現況：木工沈床の護岸



整備イメージ：現況の護岸前面に捨石を施して、段差を解消するとともに植物の生育を促す

## 【整備イメージ2：遊歩道の検討案】

### 主な意見

- ・ スロープが設置されかつ川原の幅が広い区間(毘沙門橋から中の橋の右岸および与の字橋から上の橋の右岸)を対象に、遊歩道を拡幅してバリアフリー対応にする。
- ・ 草刈りをこまめに行って有効幅員を維持する。



現況：2人で並んで歩ける程度の幅



整備イメージ：遊歩道の幅員を広げて、バリアフリーに対応する

※ 整備イメージは市民からの提案であり、今後、詳細検討の結果によっては、変更することがあります。

### 【整備イメージ3：階段・スロープの検討案】

#### 主な意見

- ・ 階段およびバリアフリー対応のスロープを整備することを推奨する。

#### 階段



現況：階段が老朽化している



整備イメージ：主要箇所に河原に降りられる階段を整備する

#### スロープ



現況：河原に降りられない箇所がある



整備イメージ：バリアフリーに対応したスロープを設置する

※ 整備イメージは市民からの提案であり、今後、詳細検討の結果によっては、変更することがあります。

### 3. ワークショップの記録

#### 1) 主な提案(市民のアイデア)と、その対応(行政からの回答)について

##### 提案1 ひと・かわ・まちの連携の再構築

主な提案	対応について
<p><b>①安らぎ・賑わいの水辺環境づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 静かに散歩ができる川。自然を満喫できる川</li> <li>・ 歴史、生き物、自然等の特徴を知ってもらう。インフォメーションの装置や知るための機会をもっと作る</li> <li>・ 川沿いでジャズ、コンサートができる川</li> <li>・ 水辺を知る為の場所整備(特に子供)</li> <li>・ 子供や市民が遊べる川にしたい</li> <li>・ 原体験を与える事(子供たちの教育)</li> <li>・ 子供たちに川での遊び方を教育する</li> <li>・ 川の危険を知るために川を渡るプログラム</li> <li>・ 周辺小学校に総合学習のテーマに義務付ける</li> <li>・ 川のイベントは人が集まるがイベントがなくとも親子が遊べる環境づくり。特に子供を対象に土日遊べるように。</li> <li>・ ドッグランのエリアを設定して欲しい</li> <li>・ なぜ川に人を呼ばなければならないのか。イベントではなく、自然に人が出向く川</li> </ul> <p><b>②多様な連携・参画の仕組づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光案内所(オンシーズンだけでも)、市民の集まる場(社交場)、情報提供の拠点づくりが必要</li> <li>・ おでって、もりおか歴史文化館などの近隣施設を活用し、川で遊ぶ道具を貸し出しする</li> <li>・ 川遊びグッズ、バーベキューグッズのレンタル。釣り、ライフジャケット、水中めがね</li> <li>・ 川プール。ライフジャケット、水中めがね貸出</li> <li>・ 橋げたブランコ</li> <li>・ 冬はカントリースキー</li> <li>・ 中の橋下流のイベント広場は、「川水浴場(7月～8月)」として利用する</li> <li>・ イベント運営を任せてほしい</li> <li>・ 川遊び案内人をもりおか歴史文化館に常駐</li> <li>・ 観光客や市民が中津川を学ぶガイドツアーを定期的実施</li> </ul> <p><b>③協働の維持管理、安全管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 草刈をみんなでやろう</li> <li>・ 市民が参加してやる維持管理をする(ゴミ拾いなど)</li> <li>・ 草刈を増やしてほしい</li> <li>・ ボランティアで川に出向く</li> <li>・ 市民と行政との協働の仕組みを議論する勉強会を開催してほしい</li> </ul>	<p>→必要な情報や手法について検討しながら進めていきます。</p> <p>→今後、具体的な内容について話し合いながら検討します。</p> <p>→場所等の意見を聞きながら、維持管理を含めた可能性について検討します。</p> <p>→拠点は、プラザおでってやもりおか歴史文化館について地域の方々等の意見を聞きながら運営していきます。</p> <p>→プラザおでってやもりおか歴史文化館での貸し出しを検討します。</p> <p>→場所、方法など話し合いながら検討していきたいと思います。</p> <p>→効率的・効果的・経済的な維持管理に努めていきたいと思います。</p> <p>→今後とも市民と行政が議論する場の開催を進めます</p>

## 提案2 かわとまちの自然環境の保全・活用

主な提案	対応について
<p><b>④自然環境の維持・保全</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>川の中には極力、手を加えない、安全面に支障があった場合には整備を実施する</li> <li>治水を踏まえた上で、川のダイナミクス有る川に</li> <li>河川敷、基本的には現在のまま（美しすぎないように）</li> <li>自然との共生を中心に考える</li> <li>京都・鴨川や東京・多摩川の真似はしないで!!</li> <li>植生の在り方の基本方針が必要</li> <li>新たな植物いらぬ。今ある植物の保存と草刈等維持管理が必要</li> <li>野の花美術館の周り、道路わき、川原に野の花を植えたい</li> <li>水芭蕉のような貴重な植物を保護・保全をする取組をする</li> <li>カキツバタ・ミズバショウ生息場の整備</li> <li>中州は生物の生息環境に配慮し、治水上・管理上の観点から撤去、樹木の伐採が必要</li> <li>ハルザキヤマガラシなどの帰化植物を広げないように</li> <li>オープンカフェのためにユリノキ伐採は本末転倒!!</li> <li>ユキノキは思いきって、除伐しても良い。城跡公園芝生広場との一体感、景観がよくなる</li> </ul> <p><b>⑤生物の生息環境の保全について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中津川は盛岡の宝（春はカジカ捕り、夏や鮎釣り、秋は鮭の湖上産卵、冬は白鳥の飛来）</li> <li>さまざまな生物が生存する川（カジカガエルなど）</li> <li>魚・ホタル・カジカガエルが住めるように</li> <li>以前の様な水質にして、水生昆虫が住む工夫が欲しい</li> <li>飛石があるとカジカガエルが育つと思う。</li> <li>サケのそ上については、専門家の意見をもとに「観察スポット」を設ける</li> <li>与の字橋 もう少し自然な護岸 生き物ふやす</li> <li>昆沙門橋上流右岸の木柵護岸前に植物を定着させる対策を取る（環境、景観、安全対策が必要）</li> <li>中津川の自生の植物を身近で見れるようにする。（水芭蕉。忘れな草、しょうぶ草）</li> <li>石垣護岸（中の橋下流左岸）にツタを</li> </ul> <p><b>⑥水質・水量に関して</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水が死んだら川は終わり（魚がすめるように）</li> <li>水源をきれいにすることが根幹、条例づくり含む</li> <li>上流から何とかしていかないと</li> <li>ドロが流れないように。砂利を洗う</li> <li>水質向上（目標をもっと高く）</li> </ul>	<p>→川の中は極力手を加えず、保全と利用のバランスの取れた必要最小限の整備に努めます。</p> <p>→今後、中津川の植栽管理について、その考え方、方針を検討します。</p> <p>→具体的な場所、種類を聞きながら対応を考えていきます。</p> <p>→中州の撤去について検討します。</p> <p>→オープンカフェは、ユリノキを活用しながら設置します。</p> <p>→専門家等の意見を聞きながら、自然環境に配慮した保全・整備を実施していきます。</p> <p>→自然環境に配慮した護岸整備に努めます。</p> <p>→護岸等の維持管理上植栽するのは好ましくないと考えます。</p> <p>→現状の開発状況等を踏まえながら、地域・市・国と連携して向上に努めていきます。</p>

### 提案3 かわとまちの歴史・景観資源の保全・活用

主な提案	対応について
<p><b>⑦景観の保全・形成について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ つくりすぎない作為的でない川の景色</li> <li>・ 不自然な人工物は作らない</li> <li>・ 生態系(生物多様性)を軸としたランドシャフト(景観+心)の豊かな川にしたい</li> <li>・ 川の景観崩れている(ビル、マンション)</li> <li>・ 基本の現状スケールを守ること(川幅、河川敷、建物高さ)を壊さない</li> </ul> <p><b>⑧川と暮らし、文化の伝承等について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 暮らしと川のつながりない</li> <li>・ 盛岡・橋・川・説明書き足りない。橋、いわれ、歴史、わからない。観光客に聞かれてもわからない。川、橋を知る仕組み</li> <li>・ 川端にある詩歌碑をわかりやすく</li> <li>・ 造り物から文学や美術は生まれにくい!!</li> <li>・ 先人や先輩の人たちの想いがあふれる、それを子供たちに伝えたい</li> <li>・ 大人が中津川を大事に思っている事を自然に伝えたい</li> <li>・ 地元市民に理解してもらうことが必要(地元の人の方がその価値を知らない)</li> <li>・ 盛岡そのものの暮らしとして子供達に伝えられる</li> </ul>	<p>→イメージパース等を示しながら整備を進めていきます。</p> <p>→景観条例等に則り、開発者等に指導していきます。</p> <p>→説明看板等の設置を検討していきます。</p> <p>→中津川の価値を伝える手法について地域の方々と連携して検討していきます。</p>

### 提案4 かわとまちを結ぶ連携空間の創出

主な提案	対応について
<p><b>⑨水辺の遊歩道・アクセス整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遊歩道はバリアフリーを考えれば、スロープ間の移動する区間で2m幅の散策路はほしい</li> <li>・ 中の橋下流左岸の散策路は不用。水路に橋を設置する</li> <li>・ 中の橋下流左岸のフットパスは、既存の捨石を動かさないことを前提に、必要最小限の管理用通路を整備する</li> <li>・ 右岸遊歩道は三川合流から山賀橋までの下流から上流まで、連続していればよい</li> <li>・ 中の橋下流石岸の水路にフタ、橋のたもとに階段を整備する</li> <li>・ 橋の上下流左右岸に階段、スロープ整備を基本とする</li> <li>・ 中の橋右岸下流に階段がほしい</li> <li>・ 上の橋左岸下流のスロープの改良が必要</li> <li>・ 救急車が入れる場の確保、車用の器材運搬</li> <li>・ 歩くことを原点に。当面は自転車はダメ</li> <li>・ 飛び石をやるなら、上の橋の下側がよい</li> <li>・ 人工的な飛び石は不自然。中津川にはマッチしない</li> </ul>	<p>→階段及びスロープ整備、散策路幅幅について検討します。</p> <p>→極力既存の捨石を移動しない工法について検討します。</p> <p>→飛び石は、今回の検討範囲では、整備しないこととします。</p>

主な提案	対応について
<p><b>⑩河川利用拠点整備について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オープンカフェバー、ワイン、酒、ビール</li> <li>・ 産直や屋台、リアカーでの販売</li> <li>・ オープンカフェはユリノキの下がよい</li> <li>・ 中の橋下流のアクセスは必要</li> <li>・ オープンカフェ整備の必要なし。その為のユリノキ伐採は大反対</li> <li>・ 不定期開催、期間限定のオープンカフェなら賛成だが、常時設置カフェは反対</li> <li>・ トイレは必要</li> <li>・ 急な雨のときに隠れる場所がほしい</li> <li>・ 街灯を増やす。夜の景観、フットパス埋込む</li> <li>・ 休める木陰、水(飲料水)</li> </ul> <p><b>⑪その他の整備に関して</b></p> <p>(1) 沿川道路・橋梁について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中の橋下流左岸側道路にかさ上げた広い歩道にする</li> <li>・ 毘沙門橋下流右岸の道路を広げる</li> <li>・ 毘沙門橋(塗装替え)、木橋吊橋デザインを復元する</li> <li>・ 橋の名前が川岸を歩く人からもわかるようにしてほしい</li> <li>・ 橋の下の見え方(配管)をきれいにする</li> <li>・ 中の橋に張り出しデッキ</li> </ul> <p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各橋のたもとに中ノ橋河川敷の様な川遊びができるスペースをつくる</li> <li>・ ベンチなど、休憩スポットも点在してほしい</li> <li>・ 流れないような石のベンチ設置</li> <li>・ 中の橋下流右岸のバス駐車場は要らない</li> <li>・ 川に面した未利用施設、空き店舗を活用する</li> </ul>	<p>→場所や規模等について、地域・市・国と連携しながら進めていきます。</p> <p>→アクセス整備と併せて、芝生広場とオープンカフェとの連携を図りながら、川と城跡公園との一体化を考えていきます。</p> <p>→トイレは場所を考慮しながら、整備可能性について検討していきます。当面は、既存のトイレ(沿川公共施設)の利用を促すことを基本とします。</p> <p>→フットパスへの照明埋込みは維持・管理が難しく、現実的ではありません。</p> <p>→水飲みを河川内に整備することは難しいです。</p> <p>→必要性と財源のバランスを考慮しながら、検討していきます。</p> <p>→橋については、今後架替えなどを実施する際に景観に配慮した整備をしていきます。</p> <p>→張り出しがなくても川を見るポイントは多くあると考えます。</p> <p>→ベンチ(石)を必要に応じ、設置する方向で検討します。</p> <p>→駐車場は観光客のためには、必要なスペースと考えます。</p>

## 2) ワークショップ議事録

### <第1回>

日 時：平成 22 年 7 月 13 日（火） 18：30～21：00

場 所：盛岡市勤労福祉会館

参加者：30 名（5 グループ）

テーマ：①暮らし・仕事、まちづくりに中津川をどう活かせると思いますか？  
②そのために必要なことは何ですか？アイデアください



### <第2回>

日 時：平成 22 年 8 月 11 日（水） 18：30～21：00

場 所：プラザおでって 3階大会議室

参加者：20 名（4 グループ）

テーマ：①遊歩道や拠点の整備のあり方  
②川の自然環境や周辺の景観のあり方  
③川を活かすためのソフト施策のあり方



### <第3回>

日 時：平成 22 年 9 月 2 日（木） 18：30～21：00

場 所：プラザおでって 3階大会議室

参加者：13 名（3 グループ）

テーマ：①前回までの検討案(主に整備)について  
②市民からの提案書(案)について

